

第150回 ベンチャープラザ二月会発表企業紹介  
(令和4年3月14日(月)発表)

■発表企業

会社名	株式会社 あんしんサポート	
代表者	代表取締役 古賀 功一	
発表者	代表取締役 古賀 功一	
事業名	見守りのプラットフォーム化へ	
キャッチフレーズ	高齢者を孤立させない社会づくり	
商品の概要	<p>当社は、地域の孤独死をきっかけにいつでも気軽に相談できる窓口としてコールセンターでの見守りサービスをスタートさせました。介護や看護の資格を持ったオペレーターによるコールセンターを運営し、自治体、不動産、企業・家族、医療機関などと連携（BtoBtoC）した高齢者向け見守りサービス事業及び、医療機関や介護施設等に向けた受電代行（BPO）事業を展開しております。</p> <p>【事業内容】          ①安否確認サービス ②見守りサービス ③緊急通報サービス ④介護相談サービス          ⑤メディカルサービス（医療機関のコールBPO事業）          ⑥ケアサービス（介護施設、サ高住などのコールBPO事業）</p>	
発表目的	①資金調達、②販路拡大・事業提携獲得	

会社名	AIM（エイム）株式会社	
代表者	代表取締役 大山 愛美	
発表者	代表取締役 大山 愛美	
事業名	お直し(補正)技術を用いた「衣」のサスティナブルの実現	
キャッチフレーズ	<b>Sewing Society Together.</b> ～ 想いをつなぎ、技術をつなぎ、社会をつなぐ～	
商品の概要	<p>①お直し(補正)による社会課題解決          当社は、高齢・過疎化が進む地域にお直し(補正)の技術者を派遣し、衣服の補正サービスに加え、障がい者や高齢者に対するインクルーシブファッション(服の着脱困難などの課題解決)の提案などを行うなど「衣」の技術による環境や雇用も含めた社会問題の解決を目指します。</p> <p>②教育・リカレント事業          すべての人が年齢や性別、障がいの有無、貧富・言語・国籍に左右されず、社会的弱者を含めたすべての方に、「お直し」という技術取得と職業選択の機会を創出します。          オープンソースのeラーニングプラットフォームである『Moodle（ムードル）』の活用や、マシンメーカーなどとのタイアップによりチュートリアル教材の共有化などを実施し、機械導入から実技までワンストップでの教育体制の確立に向けてすでに着手しています。将来的には多言語化やVRを活用した育成プログラムに発展させ、よりグローバルかつシームレスな教材として世界の貧困問題の解決を目指しています。</p> <p>③アップサイクル事業          縫製技術を含めた着物などの伝統技術の継承や、世界的課題であるアパレルの廃棄問題を解決するため、衣類製造によって生じる廃材（着物や生地端切れなど）を障がい者の就労支援として製品化し、そのノウハウやプロダクトを持続的な仕組みとして独自ブランド化に着手しています。また、介護・福祉施設などでワークショップを通じて、障がい者や高齢者の収入源創出や自立支援をサポートなど雇用問題解決に向けた取組みなども行っています。</p>	
発表目的	①資金調達、②販路拡大・事業提携獲得、③経営パートナー獲得	

会社名	株式会社 九建	
代表者	代表取締役 山本 貞輝	
発表者	寺原 憲一郎	
事業名	特殊分解洗浄工法「カビとり隊」	
キャッチフレーズ	単なる清掃ではなく、除菌洗浄が基本。独自の工法で、驚きと感動を与えます！	
商品のサービスの概要	<p>●特殊分解洗浄工法「カビとり隊」 建造物の壁面、屋根、公共施設の歩道、広場等のあきらめていた頑固な汚れや、カビを、弊社オリジナルの除菌分解洗浄剤「ジョキント」を使用し、特殊分解洗浄にて、綺麗な状態に戻します。また美観や安全性も長期にわたり維持できる魅力的な工法です。</p> <p>●特殊分解洗浄工法とは 従来の工法である高圧や高温、洗浄剤を用いた洗浄では、一旦見た目は綺麗になるのですが内部の菌核が残ったままになり、間もなくカビが再発します。一方、弊社オリジナルの除菌分解洗浄剤「ジョキント」を使用した特殊分解洗浄工法では、カビを根元（菌核）から除菌、分解することが可能なため、素材を傷めることなく汚れやカビを落とし、効果（安全や見栄え）を維持させることが出来ます。また従来の塗り替え、塗り直しをする工法よりも短期間・低コストで行うことが出来ます。</p> <p>●危険の見える化（滑り抵抗値試験） 近年では、労働災害で最多となった「転倒」の一大要因として「滑り」があげられており、そこで弊社は危険の見える化として、「滑り」を数値にし、より危険な場所を施工し、利用者の安全を確保しています。</p>	
発表目的	②販路拡大・事業提携獲得	

会社名	株式会社 Geolocation Technology	
代表者	代表取締役社長 山本敬介	
発表者	代表取締役社長 山本敬介	
事業名	IP Geolocation技術の開発及びサービス等の提供	
キャッチフレーズ	Geolocation Technologyは、独自の技術とノウハウを開発し、地域社会にとって価値のある新しいインターネットサービスを提供します。	
商品のサービスの概要	<p>当社は、インターネットユーザーの位置情報を活用した、効果的なウェブマーケティングを実現するサービスや、不正アクセスを防止するサービスの開発・提供を行っています。 また、「地域社会の活性化」を目指す当社では、自治体と連携した移住支援や観光促進のためのスタンプラリーツールの開発、提供を行っています。</p> <p>■スタンプラリー用デジタルツール「てくてくスタンプ」 「てくてくスタンプ」は、観光・周遊促進やイベントでの集客を目的として、アプリインストール不要のブラウザ型スタンプラリー用デジタルツールです。スタンプのデジタル化によりQRコードやGPS、キーワードなどでスタンプを取得でき接触感染リスクを排除することができるため、コロナ禍においても安心かつ効果的にスタンプラリーを行うことができます。 また、主催者側のダッシュボードでは、参加者の「年代や性別」「居住地」ほか、「スタンプの取得履歴」を確認でき、アナログのスタンプラリーでは難しい「参加者の行動解析」が可能です。 &lt;「てくてくスタンプ」導入一例&gt; ・静岡県主催『ゆるキャン△』×静岡県スタンプラリー ・三島観光協会主催「試合×観光で楽しもう！「アロメン」と巡るホームタウンスタンプラリー」 ・山形県主催「やまがたの棚田スタンプラリー」 ・北谷町商工会（沖縄県）主催「北谷町まるごとスタンプラリー」 など</p>	
発表目的	②販路拡大・事業提携獲得	